

129 No. 9: 香港若手技能者が来県一県内事業所の技術学ぶー (平成 30 年 9 月 26 日)

8 月 29 日から 9 月 2 日に香港職業訓練局 (VTC) のスタッフ、学生等 21 人が来県し県内企業を訪問した。VTC は職業的、専門的な教育と訓練を提供する団体。毎年 20 万人の学生が国際的な資格を取得している。

また、技能五輪国際大会への出場者 (香港代表) を選抜するため、1 年おきにワールドスキルズ香港を主催している。昨年度、本県が開催した技能五輪全国大会を見学した VTC 関係者に、香港事務所が積極的な誘致活動を行ったことにより、来県の運びとなった。

訪問先の日立ジョンソンコントロールズ空調 (栃木市) では、家庭用空調機の製造現場を見学し、「白くまくん」の特徴の 1 つである「凍結洗浄」のメカニズム等について熱心に耳を傾け、香港の空調機との違いなどをメモしていた。

アール・ティー・シー (上三川町) では、製造現場に加え、医工連携により開発された多くの製品を学んだ。「介護施設用つながる見守り支援機器」の実演ではセンシングとエレクトロニクスの技術の高さを目の当たりにし、中小企業の開発力とモノづくり力に驚いていた。

新小山市市民病院では、設計施工を請け負った高砂熱学工業の協力の下、最先端のエネルギーセンターを見学した。

富士通小山工場では、光ネットワーク製品の製造現場を見学した後、敷地内の富士通技術学院を視察した。充実した施設や研修体系などに学生も VTC のスタッフも真剣な表情だった。

来県した学生は、電子・電気系研究・技術者や電気工事士、機械保全技能士、エレベーター技師、自動車整備士などを目指す若年技能者。今回は海外での技術研修が主目的だが、真岡木綿の染色体験や日光彫などにも挑戦した。

おやま和牛、佐野ラーメン、日光ゆばといったご当地グルメも堪能した。香港では豚骨ラーメンが人気で、透き通るようなスープが特徴の「佐野ラーメン」は少し心配だったが、土産を買うほど好評だった。

本県では、「とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017」の開催成果をレガシーとして継承し、ものづくりをはじめとする将来の本県産業を担う若年技能者の中長期的な人材育成を図ることとしている。

VTC の来県が今後も継続し、若年技能者同士の交流が実現すれば、有能な技能者の養成については本県企業の競争力強化に資することから、つながった VTC とのご縁を大切にしたい。



【企業訪問の様子】

毛塚 隆弘(けづか たかひろ)

栃木県香港事務所所長。

1993 年県庁入庁。産業政策課、国際課などを経て日本貿易振興機構 (ジェトロ) に出向。2017 年 4 月から現職。栃木市出身。